

## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月24日

上場会社名 SEホールディングス・アンド・インキュベーション 上場取引所 東  
 ヨンズ株式会社  
コード番号 9478 URL http://www.sehi.co.jp  
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）速水 浩二  
問合せ先責任者（役職名）執行役員 経営企画部部长（氏名）松村 真一（TEL）03-5362-3700  
半期報告書提出予定日 2024年11月6日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前期中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	3,606	△0.3	466	△28.3	488	△16.3	319	△16.4
2024年3月期中間期	3,615	1.5	651	△13.5	583	△14.8	382	△17.1

（注）包括利益 2025年3月期中間期 282百万円（△70.9%） 2024年3月期中間期 970百万円（189.4%）

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期中間期	17	91	17	83
2024年3月期中間期	19	70	19	58

## （2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	14,311	59.9	8,577	59.9	—	—
2024年3月期	14,468	58.9	8,525	58.9	—	—

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 8,577百万円 2024年3月期 8,525百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50	—
2025年3月期	—	0.00	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	3.50	3.50	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	7,300	△0.2	1,000	△17.8	940	△17.8	625	△14.4	36	28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	19,084,226株	2024年3月期	19,084,226株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,790,329株	2024年3月期	1,106,329株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	17,858,150株	2024年3月期中間期	19,407,040株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結会計期間 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結会計期間 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善、インバウンド需要の高まり、及び雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移したものの、原材料価格・エネルギーコストの上昇などに伴う生活必需品の値上がり継続により、足許では個人消費の持ち直しの動きに足踏みが見られ、それに加えて中東情勢緊迫化など不安定な国際情勢など懸念材料も多く、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当中間連結会計期間における連結業績につきましては、売上高3,606百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益466百万円(前年同期比28.3%減)、経常利益488百万円(前年同期比16.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益319百万円(前年同期比16.4%減)となりました。

セグメント別の業績については以下の通りであります。

出版事業におきましては、書籍や電子書籍、イベントは堅調に推移したものの、オンライン広告市場の低迷や原価や販売コストの上昇もあり、売上高2,156百万円(前年同期比7.3%増)、セグメント利益(営業利益)371百万円(前年同期比8.3%減)となりました。

コーポレートサービス事業におきましては、既存クライアントからの受注減を主因に、売上高351百万円(前年同期比21.9%減)、セグメント損失(営業損失)23百万円(前年同期はセグメント利益27百万円)となりました。

ソフトウェア・ネットワーク事業におきましては、ゲームの自社サービス事業、コンテンツ事業は堅調に推移したものの、ソリューション事業売上が軟調に推移したことや技術者の育成コスト負担などにより、売上高389百万円(前年同期比8.4%減)、セグメント利益(営業利益)0百万円(前年同期比98.4%減)となりました。

教育・人材事業におきましては、IT人材研修事業売上が期の後半において増加基調に転じたものの、医療関連人材紹介事業売上が弱含みで推移したことや採用コストなどの増加により、売上高494百万円(前年同期比2.3%減)、セグメント利益(営業利益)120百万円(前年同期比20.8%減)となりました。

投資運用事業におきましては、安定的な投資運用量増加に伴う配当金収入が増加した一方、前年同期の債券償還益の反動もあり、売上高213百万円(前年同期比4.0%減)、セグメント利益(営業利益)163百万円(前年同期比6.1%減)となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、営業投資有価証券301百万円増加、現金及び預金334百万円減少、並びに流動資産その他98百万円減少を主因に、前連結会計年度末比157百万円減の14,311百万円となりました。負債については、流動負債その他128百万円減少、及び買掛金97百万円減少を主因に、前連結会計年度末比208百万円減の5,734百万円となりました。純資産については、利益剰余金256百万円増加、自己株式取得による170百万円減少、及びその他有価証券評価差額金37百万円減少を主因に、前連結会計年度末比51百万円増の8,577百万円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、2,605百万円と前連結会計年度末比334百万円の減少(前年同期は411百万円の増加)となりました。

営業活動の結果使用した資金は101百万円(前年同期比462百万円増)となりました。収入の主な内訳は税金等調整前中間純利益488百万円であり、支出の主な内訳は営業投資有価証券の増加361百万円、及び法人税等の支払額151百万円であります。

投資活動の結果得られた資金は20百万円(前年同期比10.3%増)となりました。収入の主な内訳は投資有価証券の売却による収入62百万円であり、支出の主な内訳は無形固定資産の取得による支出20百万円、及び有形固定資産の取得による支出12百万円であります。

財務活動の結果使用した資金は254百万円(前年同期比280百万円増)となりました。収入の主な内訳は長期借入れによる収入200百万円であり、支出の主な内訳は自己株式の取得による支出197百万円、及び長期借入金の返済による支出170百万円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想は、2024年7月18日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,979	2,645
受取手形、売掛金及び契約資産	1,771	1,675
営業投資有価証券	6,782	7,084
商品及び製品	600	663
仕掛品	191	221
その他	256	157
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,581	12,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	779	779
減価償却累計額	△449	△458
建物及び構築物(純額)	329	320
土地	1,059	1,059
その他	269	274
減価償却累計額	△222	△230
その他(純額)	46	44
有形固定資産合計	1,436	1,425
無形固定資産		
その他	43	59
無形固定資産合計	43	59
投資その他の資産		
投資有価証券	150	116
長期貸付金	20	19
敷金及び保証金	33	33
繰延税金資産	87	94
その他	120	120
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	408	379
固定資産合計	1,887	1,864
資産合計	14,468	14,311

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	500	403
1年内償還予定の社債	155	140
短期借入金	1,906	1,981
未払法人税等	133	162
賞与引当金	92	94
役員賞与引当金	33	18
その他	1,005	876
流動負債合計	3,826	3,675
固定負債		
社債	420	300
長期借入金	499	558
役員退職慰労引当金	119	123
退職給付に係る負債	423	443
繰延税金負債	627	607
再評価に係る繰延税金負債	7	7
その他	20	19
固定負債合計	2,117	2,058
負債合計	5,943	5,734
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,534	1,534
資本剰余金	730	733
利益剰余金	4,630	4,887
自己株式	△295	△466
株主資本合計	6,599	6,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,909	1,872
土地再評価差額金	16	16
その他の包括利益累計額合計	1,926	1,888
純資産合計	8,525	8,577
負債純資産合計	14,468	14,311

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	3,615	3,606
売上原価	1,736	1,779
売上総利益	1,878	1,827
販売費及び一般管理費	1,227	1,360
営業利益	651	466
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
投資有価証券売却益	0	9
為替差益	-	21
古紙売却収入	0	0
保険金収入	6	-
その他	3	0
営業外収益合計	10	32
営業外費用		
支払利息	5	9
支払保証料	0	0
為替差損	70	-
その他	1	1
営業外費用合計	78	11
経常利益	583	488
特別利益		
投資有価証券清算益	7	-
特別利益合計	7	-
特別損失		
固定資産売却損	4	-
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	4	-
税金等調整前中間純利益	585	488
法人税、住民税及び事業税	156	181
法人税等調整額	46	△13
法人税等合計	203	168
中間純利益	382	319
親会社株主に帰属する中間純利益	382	319

## 中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	382	319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	587	△37
その他の包括利益合計	587	△37
中間包括利益	970	282
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	970	282
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	585	488
減価償却費	24	23
為替差損益(△は益)	62	△9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△33	2
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30	△15
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8	20
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△9
投資有価証券清算損益(△は益)	△7	-
固定資産売却損益(△は益)	4	-
固定資産除却損	0	-
受取利息及び受取配当金	△0	△0
保険金収入	△6	-
支払利息	5	9
売上債権の増減額(△は増加)	213	96
棚卸資産の増減額(△は増加)	△98	△92
仕入債務の増減額(△は減少)	△66	△97
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△218	△361
未払金の増減額(△は減少)	43	△70
前受金の増減額(△は減少)	△5	△5
前払費用の増減額(△は増加)	6	9
未収入金の増減額(△は増加)	△80	0
未払消費税等の増減額(△は減少)	△27	△9
未収消費税等の増減額(△は増加)	1	16
その他	△22	△6
小計	360	△7
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△6	△8
保険金の受取額	6	-
法人税等の支払額	△161	△151
法人税等の還付額	162	65
営業活動によるキャッシュ・フロー	361	△101

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8	△12
有形固定資産の売却による収入	32	-
無形固定資産の取得による支出	△10	△20
投資有価証券の取得による支出	△7	△9
投資有価証券の売却による収入	0	62
投資有価証券の清算による収入	7	-
長期貸付金の回収による収入	0	0
敷金及び保証金の回収による収入	6	0
預り保証金の返還による支出	△1	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	18	20
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△132	112
長期借入れによる収入	550	200
長期借入金の返済による支出	△112	△170
社債の償還による支出	△65	△135
リース債務の返済による支出	△1	△1
自己株式の取得による支出	△153	△197
配当金の支払額	△57	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー	26	△254
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	411	△334
現金及び現金同等物の期首残高	2,605	2,939
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,016	2,605

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月24日開催の取締役会決議に基づき、事後交付型株式報酬として自己株式の処分を行い、この処分により資本剰余金は2百万円増加し、自己株式は27百万円(101,400株)減少いたしました。また、2024年7月25日及び2024年8月28日開催の各取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行い、この取得により自己株式は97百万円(400,000株)及び99百万円(385,400株)各々増加いたしました。この結果、当中間連結会計期間において資本剰余金は733百万円、自己株式は466百万円(1,790,329株)となりました。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	教育・ 人材	投資運用	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	2,010	450	424	506	—	3,392	—	3,392
その他の収益	—	—	—	—	222	222	—	222
外部顧客に対する売上高	2,010	450	424	506	222	3,615	—	3,615
セグメント間の内部売上高又は振替高	19	2	17	0	—	38	△38	—
計	2,029	452	442	506	222	3,653	△38	3,615
セグメント利益	405	27	55	152	173	814	△163	651

(注) 1 セグメント利益の調整額△163百万円には、セグメント間の内部取引消去39百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△203百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	教育・ 人材	投資運用	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	2,156	351	389	494	—	3,392	—	3,392
その他の収益	—	—	—	—	213	213	—	213
外部顧客に対する売上高	2,156	351	389	494	213	3,606	—	3,606
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	2	4	—	—	28	△28	—
計	2,177	354	394	494	213	3,634	△28	3,606
セグメント利益又は損失(△)	371	△23	0	120	163	632	△166	466

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△166百万円には、セグメント間の内部取引消去39百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△206百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。